

2009年11月18日実施

2010年度 特技推薦入試 [スポーツ部門]

## 小論文問題

- ① この冊子は、特技推薦入試 [スポーツ部門] の小論文試験の問題です。答案は、所定の原稿用紙に記入してください。
- ② 試験監督の試験開始の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- ③ 原稿用紙には、受験番号・志望学科・氏名を必ず記入してください。
- ④ 原稿用紙は持ち帰ってはいけません。問題冊子は持ち帰ってください。

問 次の文を読んで、あなたの考えを800字以内で述べなさい。

大学の体育会系学生による不祥事が続いている。陸上、ラグビー、サッカー、アメリカンフットボール、野球、ボクシングなど、あらゆる競技に及び、日本一を争う強豪、伝統クラブとて例外ではない。背景にあるのは何か。……

(聞き手)スポーツへの社会的関心が高まっていることに、当事者が気付いていないのではないか。注目されているという意識があれば、日ごろの言動にも気を配るでしょう。

(話し手)スポーツの世界だけの論理や考え方がまかり通っています。スポーツでご飯を食べていくとか、監督の指示通りに進路を決めていくとか。幼いころから英才教育のシステムに組み入れられ、競技以外のことは経験せず、ほかの世界との接点がないまま、大人になっていくんです。

(聞き手)「体育会系学生は就職に強い」ともてはやされた時期がありました。

(話し手)彼らに期待される役割は、軍隊で言えば、小隊長なんです。ある企業の人事担当者に聞いたことがあります。目標を与えて、これをやれと指示すれば、その通りにやる。スポーツ選手のいいところは、目標に向かってまい進するところで、それは決して否定すべきことではない。だが、大局に立って物事をじっくり考えるという訓練が欠けているのかもしれない。

あるスポーツ社会学者によると、スポーツ選手は小さいころから瞬間的判断を求められている。例えば、剣道で相手が面を打って来たとき、太刀筋が素晴らしいなんて考えていたら、やられてしまう。面が来たらすぐに払って、小手にいかなければならない。これを「スポーツの脱思考現象」と言うそうです。子どものころから1年365日、何年間も、そんな反応を求められている。それはすごい能力にはなりますが……。

(「毎日新聞」2009年8月24日付。なお、問題作成にあたり、一部省略改変してある。)